

令和4年度新潟大学法学部

第3年次編入学試験問題

専門科目（法学）

(注意) 1. 4つの設問のうち、2問を選択して解答すること。

(3つ以上の設問に解答した場合は採点の対象外とする。)

2. 設問ごとに別の解答用紙に解答すること。

令和4年度新潟大学法学部
第3年次編入学 試験問題

科目名 法 学

設問 1

類推解釈という法の解釈手法について、その他の法の解釈手法との対比をしながら説明せよ。

また、類推解釈という法の解釈手法を用いることの可否・限界等について、法分野による違いを踏まえて説明せよ。

令和4年度新潟大学法学部
第3年次編入学 試験問題

科目名 法 学

設問 2

職業の自由を制約する法律の合憲性審査のあり方について、関連する判例・学説に触れつつ、あなたの見解を述べなさい。

令和4年新潟大学法学部
第3年次編入学 試験問題

科目名 法 学

設問 3

民法175条には、「物権は、この法律その他の法律に定めるもののほか、創設することができない」と規定されている。この規定に書かれている物権に関する原則のことを物権法定主義というが、何故、民法において、物権法定主義が採用されているのか、その理由について説明しなさい。そして、物権法定主義が内包している問題点についても説明しなさい。

令和 4 年度新潟大学法学部
第 3 年次編入学 試験問題

科目名 法学

設問 4

罪刑法定主義について論じ、かつ、それが具体的に問題となる例を 3 つ挙げて説明しなさい。